

第6回松陵小学校地域懇談会が開催されましたので、その概要を松陵小学校及び松陵西小学校の学区内にお住まいの皆様にお知らせします。

【日時】平成23年7月24日（日） 14:00～17:00

【場所】松陵小学校 1階 みどりの教室

【次第】

- 1 規約の改正について
- 2 報告 (1)震災について
(2)地域懇談会の協議経過について
(3)第5回地域懇談会の協議結果について
- 3 協議 (1)松陵地区における新たな小学校開校の方向性について
(2)その他



《今回の懇談会では…》

第5回地域懇談会で「松陵小学校と松陵西小学校を統合するという方向性」と「統合にあたっての要望や条件を協議した上で、統合について最終的な判断を行うという流れ」という2点が確認されましたので、松陵西小学区の代表者にも判断していただくため、懇談会委員として加わっていただきました。

1 規約の改正について

今回の懇談会から松陵小・西小両学区の代表者41名で松陵地区の新たな学校づくりについて協議を行うため、西小学区代表者（西小保護者、西小学区内町内会長）16名を懇談会委員として加えることとし、必要な規約を改正しました。

2 報告

(1)震災について

東日本大震災時の松陵地区の避難所の状況等について教育委員会から報告がありました。松陵地区では、松陵小、西小、松陵中、松陵西コミュニティ・センターの4ヶ所に避難所が開設され、避難者は多いときで1日あたり松陵小が120名、西小が500名、松陵中が100名、松陵西コミュニティ・センターが30名となりました。松陵小、西小、松陵西コミュニティ・センターの避難所は3月18日まで、松陵中は松陵地区の避難所が集約されましたので3月25日まで開設されていました。

なお、松陵地区の小中学校は、幸いにもほぼ例年通りの時期に授業を始めることができました。

(2)地域懇談会の協議経過について

今回から新たに西小学区代表者も懇談会に加わりましたので、あらためてこれまでの懇談会の協議経過を報告するとともに、統合を進めるにあたりこれまで出された主な意見、要望について、教育委員会としての対応が説明されました。

統合を進めるにあたって出された意見・要望についての教育委員会の対応

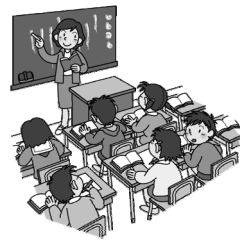
『両校児童が新しい学校に馴染むために』

→ 松陵地区では、これまでも「松陵っ子土^どっと来い」など地域交流が盛んに行われており、小学校においても両校児童の交流学习が行われてきましたので、今後も計画的に授業や行事等の交流を進めていきます。

また、松陵小の「スクールカウンセラー」と西小の「さわやか相談員」を統合校においても配置し、相談対応や見守りを行います。

『授業が分かるようになるために』

→ 教師がより一層きめ細やかな指導ができるよう、また、児童が様々な授業形態で学習できるよう、少人数加配教員に加えて新たに非常勤講師を2年程度配置し、主要4教科を中心に少人数学習やティーム・ティーチングを実施していきます。



また、市内には「高学年教科担任制」を実施している学校がありますので、統合校においても学校や児童の実態に応じてそのような体制を取ることにも可能になります。

『地域とともに歩む学校を実現するために』

→ 通学路の安全を確保するための管理や整備などを関係機関へ働きかけていくとともに、防犯ボランティアなど地域で活躍する方々への支援を要請していきます。



また、学校や家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子育てをする「学校支援地域本部事業」を推進し、生活・学習サポーターなどボランティアとして地域の方々の協力をいただきながら、松陵地区全体で学校を支援するための体制を整え、子どもたちの豊かな学びや安全安心な地域づくりをめざしていきます。

『松陵小の施設を有効活用するために』

→ 跡地については、検討部会などを開催して地域の要望や他都市の取り組みなどを把握しながら、災害時の避難場所や建物の特徴を生かした施設など、有効活用を図りたいと考えています。

(3) 第5回地域懇談会の協議結果について

前回の地域懇談会において『松陵小学校と松陵西小学校を統合するという方向性』と『統合にあたっての要望や条件を協議した上で、統合について最終的な判断を行うという流れ』という2点が確認されたことが報告されました。

3 協議 ～松陵地区における新たな小学校開校の方向性について～

西小学区代表者が加わった懇談会として、前回の2点の確認事項を踏まえながら松陵地区における新たな小学校開校の方向性について協議しました。

様々なご意見が出された中で、今後も懇談会として協議を継続することが確認されました。

■ 委員等の主な意見

○震災について

- ・西小に500名避難したということだが収容人員は大丈夫だったのか。
→収容できる人数は、1名あたり3.3㎡を目安として体育館の面積を割ったもので算出しますと、松陵小540名、西小831名、松陵中1,029名となりますので、大丈夫です。松陵地区全体の避難者は多いときで750名でしたので、松陵中のみで収容可能な人数であったと考えられます。なお、必ずしも学校がなければ避難所が開設できないということではなく、地域の避難所をどのように決めたらいいのか、地域と一緒に考えたいと思います。(教育委員会)

○地域懇談会の協議経過について

- ・統合に向けた対応において、新たな非常勤講師の配置はなぜ2年程度なのか。
→子どもたちは2年程度で新しい環境に適応できると考えていますので、まずは2年程度と提案しました。(教育委員会)
- ・統合するには地域との合意が前提で、地域との合意書が必要だ。懇談会は閉鎖的な単なる話し合いの場であり、何を意思決定できるのか。4月に行われた東町内会総会では統合反対の声があったのだから、これ以上議事を進める必要があるのか。(傍聴者)
→この地域懇談会では、松陵地区の保護者や町内会から選出された代表者が、学校の統合に関して真剣に議論し意見交換を行ってきました。第5回に確認された「松陵小学校と松陵西小学校を統合するという方向性」と「統合にあたっての要望や条件を協議した上で、統合について最終的な判断を行うという流れ」は、地域の代表者の総意として確認された結果ということをご理解いただきたいと思います。(教育委員会)

○松陵地区における新たな小学校開校の方向性について

- ・西小の子どもたちも松陵小の子どもたちといい感じで交流している。統合に向けた問題を1つ1つ解決していきたい。
- ・震災後の東町内会総会では、統合について反対の意見でまとまった状態となっている。年度が替わって役員も新しくなり、また、臨時総会も開いていないので、今後については町内会としてまとまった話し合いはしていない。
- ・地域懇談会は地域を代表しているのか。この懇談会の決議は地域を代表するのか。(傍聴者)
→地域懇談会は松陵小の存続・統合を判断する場であると規約に明記されています。保護者・町内会から選出された代表者からたくさんの意見が出ています。また、懇談会の概要は毎回「統廃合ニュース」としてまとめ、両校の学区内全戸に配付し地域の皆様にお知らせしています。このように確実にステップを踏んでやっていますので、この懇談会は地域を代表しているものと認識しています。(教育委員会)
- ・懇談会が始まった当初は、町内会では保護者の意見を支持するという考えであったが、震災を経て地域としては学校が必要だという意見が高まってきたのではないかと思います。松陵小保護者会の臨時総会で半数以上が統合に賛成という結果になったが、東町内会から反対という意見があったので、それを踏まえてもう1回相談しないことには統合と胸を張ってお話できる状況ではない。
- ・悩んだときは子どもたちを基準に考えたらいいのではないかと。統合の問題と避難所の問題は別の話だ。子どもたちの幸せがどこにあるのか。町内会、父兄の人も色々考えがあると思う。しかし、子どもたちが学校の主役だ。
- ・今年度のように統合がいつなのか出てこない限り保護者はものすごく不安であり、また西小への入学を求める保護者も出てくるかもしれない。今まで積み重ねてきた懇談会の重みもあるので、未就学児、特に来年入学を控えている保護者に不安を与えないものは示さなければいけない。とりあえず開校年度はここだということを示さないと、また保護者が迷うと思う。

- ・松陵小保護者会の統廃合アンケートをまとめていたが、積極的な賛成の意見は1人2人で、地域のことを考えて仕方なく賛成という意見が多かったので、子どもや学校のことを考えた意見をもう一度まとめなおして、その総意から西小と意見交換すべきと思う。
- ・一・二丁目町内会では総会時に統合問題についての意見は一切出なかったので、特に大きな反対の意見はないと考えている。
- ・統合というのは必ず百人百様の考えがあって、100パーセント満足のいく統合はありえない。お互いに意見を言いながら最良の方向を見つけて進めていくのは大変だが、いずれにしても子どもたちの将来という方向に立った考え方をするのが大事であると思う。
- ・この懇談会では、子どもたちと保護者に悩みや不安を与えるような結論に持っていったってはいけないというのが最低条件だ。何のために2年半なり3年間懇談会での議論を積み上げてきたのか。来年度、再来年度入学を迎える子どもや保護者が悩むような環境を放置してはならない。
- ・松陵小保護者会では臨時総会を開いて僅差で統合賛成となったが、大災害で統合に対する考えが変わられた方もいるのではないかと。一旦ブロック単位で意見を集約すべき。
→教育委員会としては、この懇談会の中で皆さんがこうやりましょうということであれば、それにお答えできるように積極的に対応したいと思います。(教育委員会)
- ・来年度、再来年度に松陵小入学予定の保護者に現在の状況を説明し、現況をヒアリングしてほしい。
→保護者がどのように考えているかを聞く機会につきましては、学事課と調整しながら混乱のないようにしたいと思います。(教育委員会)
- ・来年度1人でも多く松陵小に入学してもらいたいのので、簡単に西小に変更する状況を食い止めてほしい。
→指定校変更は、兄弟姉妹や保育の状況等の許可基準に沿って手続きがなされます。基準に合えば許可するものであることをご理解いただきたいと思います。(教育委員会)
- ・町内会の意思なるものもあると思うが、町内会の構成員である子どもや保護者がどうなっているのかも考えなければならない。やはり子どもを第一に考えて懇談会を進めるということを通認認識にすべきである。
- ・仮に松陵小という器が空くならば、地域がどのように防災・防犯の拠点としてその器を育てて運営していくかを積極的に考えるべきだ。
- ・西小学区代表者は、統合となれば新しい学校づくりが始まるとの意識があるのか。(傍聴者)
→西小としては、校歌・校章・学校名も変わるかもしれないが、吸収ではなく統合として、一緒に新しい学校を作るという意識である。

■今後のスケジュール

第7回地域懇談会の開催日程・協議内容は、詳細が決まり次第お知らせいたします。

※松陵小学校と松陵西小学校の保護者の皆様、両校の学区内にお住まいの皆様は地域懇談会を傍聴することができます。

教育環境の改善についてご意見がありましたらぜひお寄せください



■松陵小学校地域懇談会事務局

仙台市教育委員会 学校規模適正化推進室

電話：214-8432 FAX：264-4428

Eメール：kyo019031@city.sendai.jp

※取組み内容はホームページでもご覧いただけます

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索